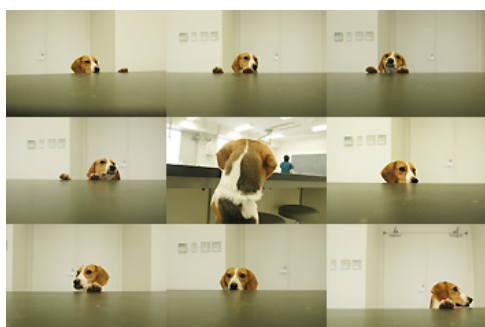


YAMAUCHI ANIMAL CENTER NEWS

vol.98 2011.2

血液検査からわかること (2)



どこの臓器に異常があるのか、病気はどの程度進行しているのか、そうしたことを探る一つの方法として「血液生化学検査」と呼ぶ検査法があります。血液中に流れているさまざまな物質の濃度を測定するもので、たとえば、血糖値（グルコース濃度）を測定することで糖尿病かどうか判断することができます。

右表では代表的な検査項目について簡単に説明しています。病院でお渡しする検査結果の表とあわせ、ご覧ください。

関連する主な臓器	検査項目	特徴
肝臓	GOT	この3項目は肝臓・胆道の異常を知る手がかりとなります。肝臓の細胞に異常があると、GOT・GPTが肝細胞から漏れて、血液中の濃度が高まることがあります。ALPは胆道が閉塞しているときに上昇し、弱齢の動物では骨の成長に伴ってALPが高い値を示すことがあります（骨にも多量のALPが存在するためです）。
	GPT	
	ALP	
腎臓	BUN	腎臓は老廃物を尿として捨てる機能を持っています。腎臓の機能が落ちると、不要なタンパク質であるBUN・クレアチニンの濃度が上昇します。
	クレアチニン	
膵臓	血糖値	糖尿病を診断する重要な検査項目です。意識障害や痙攣発作を示す動物では重度の低血糖になっていることもあります。
甲状腺、胆管	総コレステロール	甲状腺の機能が低下すると、上昇することがあります。胆管閉塞でも上昇します
肝臓、消化管	総タンパク	肝臓はタンパク質を合成していますので、肝臓の合成能が低下すれば総タンパク、アルブミンが低下します。消化管での吸収不良、消化管にタンパクが漏出する疾患などでも低下します。
	アルブミン	

日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

2月の診察日。赤字(木曜日)、青字が休診日です。

山内獣医師の皮膚科のご案内

診療時間は午前10-12時、午後3-5時です。

毎週月曜日の午後は不在となります。急な不在についてはHP・院内掲示でお知らせしますが、ご来院前にはできるだけお電話にてご確認ください。

山内アニマルセンター

〒189-0013 東京都東村山市栄町2-22-22

042-393-7878

<http://www.yamauchi-ac.com>

診察時間 午前9-12時 午後3-8時

